

科目名	商業科教育法	科目コード	1307	単位数	2
担当者名	高橋 秀幸	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

高等学校学習指導要領における教科「商業」の教育目標と内容を理解し、教員として必要な基本的知識・技能を身につけていく。また、ビジネスに関することに興味を持ち、これからの商業（ビジネス）教育を推進する教員としての資質を高めていく。

● 到達目標

- 1.教科「商業」について学習指導要領から目標、科目構成について理解する。
- 2.商業科目の内容と各種検定試験や実践的学習の指導について理解する。
- 3.商業（ビジネス）教育を進める上で必要な学びとは何かを探究する。

● 授業内容

- 1週目 オリエンテーション、北海道における高校教育、高等学校における商業教育
- 2週目 高等学校学習指導要領について
- 3週目 教科「商業」の目標と分野・科目構成について
- 4週目 商業科目の具体的内容(1) 基礎的（必履修）科目「ビジネス基礎」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 5週目 商業科目の具体的内容(2) マーケティング分野の3科目「マーケティング」「商品開発」「広告と販売促進」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 6週目 商業科目の具体的内容(3) ビジネス経済分野の3科目「ビジネス経済」「ビジネス経済応用」「経済活動と法」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 7週目 商業科目の具体的内容(4) 会計分野の科目「簿記」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 8週目 商業科目の具体的内容(5) 会計分野の4科目「財務会計」「財務会計」「原価計算」「管理会計」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 9週目 商業科目の具体的内容(6) ビジネス情報分野の科目「情報処理」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介、情報機器の効果的な活用方法
- 10週目 商業科目の具体的内容(7) ビジネス情報分野の4科目「ビジネス情報」「電子商取引」「プログラミング」「ビジネス情報管理」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 11週目 商業科目の具体的内容(8) 総合的科目の3科目「課題研究」「総合実践」「ビジネス実務」の目標と内容・評価について、指導事例の紹介
- 12週目 商業科目における発展的内容 高度な資格取得に向けての指導（簿記、情報処理等）
- 13週目 専門性を活かした教材研究手法(1) 大学での専門科目を活かし、教科商業における各科目の教材研究を行う（ビジネス基礎を中心に展開する）
- 14週目 専門性を活かした教材研究手法(2) 大学での専門科目を活かし、教科商業における各科目の教材研究を行う（各自のゼミや取得資格済みの資格を中心に展開する）
- 15週目 自分の専門性を活かした高校商業教育についての発表及びディスカッション、到達度チェック
- 16週目 まとめ。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

事前に学習指導要領解説や資料等を読んでくること。また、商業科教員を目指していく上で日本商工会議所主催簿記検定1級や基本情報技術者試験（FE）などに積極的に挑戦し取得することが望ましい。これらの資格取得者は北海道教員採用試験の1次専門試験が免除となる。

● 成績評価の方法・基準

評価項目は以下のとおりである。
 課題レポートおよび発表（40%）
 到達度チェック（60%）

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

簿記検定3級以上を取得していることが望ましい（未取得者は履修中に取得すること）。講義は休まないように心がけ、欠席・遅刻時は必ず事前に連絡すること。また、講義内で各自のパソコンやスマートフォンを使用する場面がある。

● テキスト

文部科学省『高等学校学習指導要領解説商業編』 2019年版使用予定

● 参考書

日本商業教育学会編『教職必修最新商業科教育法新訂版』（実教出版）2011年 2,376円
 高等学校で使用されている商業科目の教科書（自分が専門とする科目の教科書）

● 更新日付

2019/03/14 02:49